

年 組 名前:



昇仙峡ほうとう祭り

甲府一高生が提案

甲府市の昇仙峡で12月1日、5年ぶりに「昇仙峡ほうとう祭り」(昇仙峡観光協会主催)が開かれる。祭りは会場の都合で2019年を最後に途絶えていたが、若者が昇仙峡を訪れるきっかけにしたいと、甲府一高の生徒が協会に復活を提案し企画された。当日は高校生がパフォーマンスも行い、会場を盛り上げる。

〈杉原みずき〉

来月1日、5年ぶりに祭り復活



協会によると、祭りは郷土料理のほうとうを食べ比べて楽しんでもらうと、これまでに10回開催。毎回2日間で約3千人が訪れていた。

復活を提案したのは、同校探検科2年生の深味かなさん、山田えみさん、彦坂奈津美さん、数野礼衣さんの4人によるグループ。同世代に昇仙峡を知ってもらうと、1年時にはお薦めスポットを紹介する動画を制作し、インスタグラムで公開した。

さらに実際に足を運んでもらう方策として、メンバーがチラシで目にしたことがあった祭りの開催を協会に持ちかけた。芦沢卓夫会長は「高校生の熱に押された」といい、地元店舗の協力も得て準備を進めてきた。祭りは午前11時〜午後2

ほうとう祭りの復活を提案したメンバー 甲府一高



時半に、「昇仙峡ロープウェイ」駐車場で開催。6軒が出店し、みそ味のほか、小豆ほうとう、焼きほうとうも並ぶ。全店共通チケット制で、1杯300円。会場では、ア・カベラ、ダンス、フォークロック部がパフォーマンスを披露。グループは、高校生の夢を応援するコンテストで得た資金を活用して、ゲーム機などの賞品を用意したビンゴ大会(午後1時)を実施する。

交通手段がない高校生らにも楽しんでもらうため、JR甲府駅南口からシャトルバスを運行する。予約優先で、行きは午前10時20分、帰りは午後1時50分と同3時35分。専用フォームで申し込み。詳細はインスタグラム「QRコード」に掲載している。

メンバーは活動を通して、仙娥滝の神秘的な魅力や渓谷の迫力を感じたという。「祭りがパノラマ台からの絶景なども知ってもらえたらいい」と話している。芦沢会長は「高校生に昇仙峡を知ってほしい」という思いもあった。温かいほうとうを食べながら、景色を見てほしいと話している。

(2024年11月29日付 山梨日日新聞18面)

問1

途絶えていた「昇仙峡ほうとう祭り」が5年ぶりに開かれます。復活した理由を教えてください。

.....

問2

祭りが開催される場所を教えてください。

.....

問3

祭りでは飲食以外に、どのような楽しみ方ができますか。

.....

.....